

## 8 原爆・平和展の開催について

(厚生労働省・外務省関係)

### 要望内容

- 1 国による海外での原爆展の開催の拡充
- 2 広島・長崎両市が開催している原爆・平和展への財政支援等

### (要 旨)

広島・長崎両市は、今日まで、被爆の実相を国の内外に伝えるとともに、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきました。

その手段の一つとして、これまで、北米、欧州、アジア、大洋州及び中南米の諸都市において原爆・平和展を開催し、大きな反響を得てきましたが、一方で、原爆被害の実相がいまだ十分に知られていないことも事実です。

核兵器をめぐるのは、核兵器禁止条約が令和 3 年 1 月 22 日に発効し、核兵器のない世界の実現に向けた新たなスタートがきられたものの、核保有国は核不拡散条約（NPT）第 6 条核軍縮の誠実交渉義務を果たすどころか、核戦力の増強や核兵器の近代化を進めるなど、被爆地の願いに反する動きが見られる状況にもなっています。原爆・平和展の開催は、核兵器廃絶の国際世論を高め、核抑止力に依存する核保有国の政策を変えさせていく上で、有効な手段の一つであり、人類史上唯一の被爆体験を持つ我が国には、被爆の実相を伝える積極的な取組が求められています。

こうした中、本市では、平成 7 年以来、核超大国であるアメリカ、ロシアを始めとする 19 か国 53 都市において「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」を開催しています。

国におかれては、本年度、ドイツにおいて原爆展を開催するとともに、広島・長崎両市が開催する海外原爆・平和展への人的・物的連携を続けていただく予定となっていますが、今後より一層広く国内外に被爆の実相を伝えていくため、国による海外での原爆展の開催の拡充及び広島・長崎両市が開催している原爆・平和展への財政支援や連携強化について、格別の御配慮をお願いいたします。

## (参 考)

### 「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」について

#### 1 事業主体

広島市、長崎市、現地主催団体

#### 2 事業内容

##### (1) 開催場所

核保有国を中心とした各国の主要都市

##### (2) 主な内容

- ア 被爆の実相や現在の核の状況、今日の広島・長崎の姿を示す写真パネル等及び市民が描いた原爆の絵の展示
- イ 被爆資料の展示
- ウ 被爆の実相を伝えるビデオの上映
- エ 被爆体験証言の開催 など

#### 3 これまでの開催状況

開 催 場 所	開 催 期 間	入 場 者 数	備 考
米国・ワシントンD. C. アメリカン大学	平成 7年7月8日 ～7月27日	約3,000人	
米国・ミズーリ州コロロンビア市 スティーブン大学	平成 8年8月20日 ～9月1日	約2,700人	
イタリア・ウンブリア州 ペルージア市ロッカ・パオリーナ アッシジ市アッシジ市役所	平成 9年3月1日 ～3月31日	ペルージア市 約3万3,000人 アッシジ市 約1万人	
米国・ニューヨーク市 ニューヨーク市立大学	平成 9年9月2日 ～10月9日	約6,300人	
インド・ムンバイ市 ネールセンター	平成10年1月30日 ～2月19日	約5万4,000人	
インド・ニューデリー市 国立科学センター	平成10年4月10日 ～5月15日	約2万8,000人	
イタリア・コモ市 サン・フランセスコ	平成10年5月2日 ～5月29日	約4,300人	
米国・マサチューセッツ州 タフツ大学アートギャラリー	平成10年10月15日 ～平成11年1月3日	約6,000人	
英国・リーズ市 王立武器博物館	平成11年8月14日 ～10月3日	約1万8,000人	
カザフスタン・セミパラチンスク市 国立ニゾロフ美術館	平成11年8月22日 ～9月12日	約1万5,000人	
カザフスタン・アルマティ市 アルマティ市科学アカデミー	平成11年9月5日 ～9月15日	約3,200人	
カザフスタン・アルマティ市 アルマティ市科学アカデミー	平成11年9月5日 ～9月15日	約3,200人	
スイス・ジュネーブ市 バッティマン・フォルスモトリス	平成11年10月23日 ～10月31日	約4,000人	

開催場所	開催期間	入場者数	備考
米国・カリフォルニア州サンタバーバラ市 ウェストモント大学	平成12年9月1日 ～9月29日	約1,500人	
オーストリア・ウィーン市 ウィーン国際センター	平成12年9月5日 ～10月30日	約1万8,500人	
米国・テネシー州マーフリーズボロ市 中部テネシー州立大学	平成12年10月7日 ～10月28日	約1,500人	
ドイツ・ハノーバー市 ハノーバー市役所	平成12年11月20日 ～12月8日	—	
ロシア・ボルゴグラード市 国立スターリングラード攻防戦パノラマ 博物館	平成13年9月8日 ～10月7日	約4万人	
米国・オハイオ州オーバリン市 ファイアーランド協会芸術ギャラリー	平成13年9月9日 ～9月21日	約1,700人	
ニュージーランド・クライストチャーチ市 カンタベリー博物館	平成14年3月16日 ～4月21日	—	
ニュージーランド・ウェリントン市 マイケル・フォーラー・センター	平成14年5月1日 ～5月12日	約6万人	
ニュージーランド・オークランド市 アオテア・センター	平成14年9月24日 ～10月17日	約2万人	
カナダ・オタワ市 ディーフェンバンカー・カナダ冷戦博物館	平成14年11月21日 ～平成15年3月17日	約4,000人	
米国・アトランタ市 エモリー大学シャトンギャラリー	平成15年9月15日 ～11月15日	約5万5,000人	
英国・コベントリー市 ハーバート美術館・博物館	平成15年10月3日 ～10月29日	約5,700人	
英国・マンチェスター市 マンチェスター市庁舎	平成16年2月3日 ～2月27日	約5,000人	
英国・リーズ市 メトロポリタン大学	平成16年5月28日 ～6月18日	約5,000人	
フランス・オーバーニュ市 シャペル・デ・ペニタント・ヌワル	平成16年9月14日 ～9月29日	約2,000人	
フランス・ナント市 エスパス・コスモポリス	平成17年1月11日 ～2月27日	約6,000人	
米国・コンプトン市 コンプトン・コミュニティ・カレッジ	平成17年3月18日 ～4月22日	約3,800人	
米国・ニューヨーク市 国連本部1階ロビー等	平成17年5月2日 ～5月27日	—	日本原水爆被害者団体協議会との共催
米国・セントポール市 セントポール市庁舎	平成17年8月25日 ～9月15日	約1,200人	
フランス・パリ市 パリ市役所展示ホール	平成17年9月5日 ～10月4日	約2万200人	
カナダ・バンクーバー市 総合アトラクション施設 ストーリアム	平成18年6月9日 ～6月30日	約2,100人	
米国・ポートランド市 ポートランド州立大学 学生会館内	平成18年11月2日 ～11月29日	約3,100人	
米国・シカゴ市 デュポール大学 学生会館内	平成19年10月15日 ～平成20年1月21日	約5,000人	
ブラジル・サンパウロ市 サンパウロ州立移民記念館	平成20年8月2日 ～9月7日	約1万1,000人	
ロシア・オレンブルグ市 オレンブルグ国立大学	平成21年10月14日 ～11月1日	約5,000人	
米国・ニューヨーク市 国連本部1階ロビー	平成22年5月3日 ～6月22日	—	日本原水爆被害者団体協議会との共催
英国・ロンドン市 イベントホール「フレンズハウス」	平成22年8月2日 ～8月12日	約1,500人	
オーストラリア・ケアンズ市 タンクス芸術センター	平成23年10月14日 ～11月16日	約5,200人	
オーストラリア・メルボルン市 ガスワークス・アーツ・パーク	平成24年10月9日 ～10月28日	約2,000人	

開催場所	開催期間	入場者数	備考
オーストラリア・アデレード市 ハイヤー・グラウンド	平成24年11月3日 ～11月29日	約1,100人	
オーストラリア・ブリスベン市 ブリスベン市立スクウェアライブラリー	平成25年3月1日 ～4月30日	約13万人	
クロアチア・ザグレブ市 科学博物館	平成25年9月10日 ～10月6日	約2,000人	
クロアチア・ビオグラード・ナ・モル市 郷土博物館	平成25年10月10日 ～12月6日	525人	
スペイン・バルセロナ市 ボルン文化センター	平成27年1月13日 ～2月8日	約9万4,100人	
スペイン・グラナラズ市 グラナラズ博物館	平成27年2月11日 ～3月8日	約1,100人	
米国・ニューヨーク市 国連本部1階ロビー	平成27年4月23日 ～5月31日	—	日本原水爆被害者団体協議会との共催
米国・ワシントンD. C. アメリカン大学	平成27年6月13日 ～8月16日	約5,000人	
米国・ボストン市 ボストン大学	平成27年9月11日 ～10月18日	863人	
米国・シカゴ市 日本文化会館	平成28年10月1日 ～10月29日	約1,200人	
ハンガリー・ブダペスト市 岩の病院・核の避難所博物館	平成29年6月1日 ～10月31日	約9万人	
モンテネグロ・コトル市 コトル文化センター	平成29年11月15日 ～11月30日	約1,600人	
ハンガリー・ブダペスト市 岩の病院・核の避難所博物館	平成29年12月20日 ～平成30年8月31日	約11万3,200人	
フランス・カーン市 カーン記念館	平成30年9月20日 ～10月31日	約1万人	
ベルギー・イーペル市 イーペル博物館	平成30年11月9日 ～12月2日	約2,100人	
米国・ロチェスター市 ロチェスター・モンロー郡中央図書館	令和元年9月16日 ～10月2日	約1,000人	
米国・ロサンゼルス市 全米日系人博物館	令和元年11月9日 ～令和2年3月1日	約2万8,000人	
米国・ホノルル市 戦艦ミズーリ記念館	令和2年8月13日 ～令和3年2月27日	約1万3,500人	
米国・ハワイ郡ヒロ町 ハワイ大学ヒロ校	令和2年12月7日 ～令和3年2月27日	約1,000人	